

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	職員の意見や工夫で もっと、利用者によりそう介護の実践、よりよい記録につなげられるようにしたい。そのための課題とケアのあり方を考えられるような職員の気づきが必要である。	『もっと、利用者のそばに寄り添う介護にしたい』 日々の生活を大切に、関わりが出来るケアの実践・気づき・工夫から個人記録や介護計画に繁栄され、職員の感性が養われる。 項目26に繁栄できる。	1.今以上に、利用者に関わる。関わった事、話した事を記録する。 2.利用者の会話を より大切にするために、職員間で周知するための、毎月ミーティングの定着。 3.居室担当者は、1と2を把握しケアプランに繁栄する。	6ヶ月
2	26	職員一人ひとりの意見、介護のアイデア・工夫はミーティングや日常の介護の中からでているが、様式や介護計画の進め方は不十分で検討中。	私たちは、利用者の人生・その最終章に縁あって関わらせて頂ける事に意味を持ち、実際に行われている日々のケアと、その人らしい生活が調和されているか確かめながら『つながる介護計画になる』介護計画・記録は歴史となり宝物になる。	1.介護記録を見直し、その人の日々が見えてくるものにする。 2.アセスメント記録の様式を充実させる。 3.項目27の取り組みと 1と2をチームとして、何回でも話し合い作り上げる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。